

ほけんだより 9月

吉原小学校 保健室
R5.9.15 中本 舞香

2学期がはじまり、2週間が経とうとしています。毎日、元気に登校している子どもたちをみるとホッとします。吉原小に来て2週間ですが、子どもたちから日々たくさんのお話を学ばせてもらっています。「白いクジャクがいるんだよ」「ゾウムシはアカギを食べるんだよ」など、家に帰って調べている毎日です。これからも、たくさん教えてほしいです。自然豊かな吉原で、のびのびと育っている子どもたちがとても可愛くて、元気をたくさんもらっています。

“すりきず”の処置について



がっこうのけがの中で1番
おいといわれています!

救急処置の分野で、この10年間でもっとも変わった分野です。

「けがをしたら消毒をする」という常識が変わり、「けがをしたら、基本は水道水であらい流す」となりました。

理由は、人間の体には自然治癒力（なおす力）があり、絆創膏などで傷をおおい、浸出液で皮フをうるおすことで、

なおりが早くなるとわかったからです。人間の持っている力は、すごいですね!



おそろしい…海のいきもの



みなさんも知っている、危ないと有名な“ハブクラゲ”

沖縄では毎年100件以上、海の生き物による被害があるそうです。

安全に海を楽しむために、正しい知識をみにつけておこう!

レストピラ症について



9月13日に、石垣市在住の10代5人が、西表島の河川で

レストピラ症にかかってしまったというニュースがありました。

【症状】38度以上の発熱、筋肉・関節痛、結膜充血など

【感染経路】ネズミなどの野生動物の尿 → 土や水 → 人の粘膜（傷口）

【対策】河川や滝の生水を飲まない、土や水を直接さわらない

野生動物を素手でさわらない

深さ50cmの
あさい場所にも
いる

さされたら
お酢をかける

ほんとうめいで
見つけにくい

5月～10月
に発生

さされても
こすってはい
けない

さされると
とても危険!

海の中には、ほかにもいろいろな危険な生きものがひそんでいます。

みつけたらさわらずに、すみやかに手洗いをしましょう。長そで・長ズボンを着て、できるだけ皮フをださないようにしましょう。



保護者の方へ



※ 沖縄県 衛生環境研究所

ほけんしつのもど

きれいなあお〜氷鈴

1年生のりこさんがバタフライピーで、あお色に染めた水を見せてくれました。うしろにははるきさんとくさんも一緒です。あお色が透き通っていて、きれいな色でした。

